

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	12	0	0	0	人数や活動によってパーティションで部屋を仕切っている。課題（宿題）部屋を別に設け、集中できるようにしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	12	0	0	0	利用者の特性に合わせてスケジュール化したり、余暇活動、集団活動、個別活動ができるように空間を分けている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	0	0	各部屋ともに段差は無く、床はフラットでパーティションで活動ごとに部屋を仕切っている。児童のトイレ、手洗い場がフロア内に無いため部屋の移動が必要となっている。 適切な環境でバリアフリーもなされている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	0	日報に日々のPDCAを行う項目があり、振り返りを行うことができる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	0	0	0	徹底した業務効率化に取り組んでいる。業務内容、時間を細かく報告し無駄な内容や時間を見直している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	12	0	0	0	オンラインで全体ミーティングを行い、情報を共有したり、研修を行ったりしている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	0	0	0	週一回、部署ミーティングや放デイミーティングの実施、毎日の集団ミーティングとスタッフ間で業務についての話し合いの場を設けている。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	1	0		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	0	0	0	個々の利用者様に合った計画を立て、実践、評価を繰り返している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	0	0	0	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0	0	0	活動が偏らないよう、また季節感が感じられるような活動を意識し取り組んでいる
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	0	0	集団では曜日ごとに利用者様に合わせ内容で療育をおこなっている。また内容については常に新しい内容を工夫し取り組んでいる。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	0	0	0	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	0	0	0	児童への対応の仕方や、疑問点などその都度スタッフ間で報連相を行い、週一回のミーティングで支援についての話し合いの場を設けている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	0	部署ミーティングで、利用者の情報や取り組みについて情報共有している。日々の記録をアプリ内で確実にやっている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	0	1	0	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	1	0	たまに職員様方同士の伝達漏れがあるように感じます。
18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	0	0	週一回二回のミーティングで共通認識を確認し、療育内容を決めている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	11	0	1	0		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	0	0	0	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	0	0	0	日々の学校からの申し送りや学校との情報交換が定期的におこなわれている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	0	5	0	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	12	0	0	0	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	0	1	0	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	0	1	0	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	6	0	担当者会議、個別支援会議、モニタリング等を定期的に行っている。支援学校での個別目標を共有し、課題を設定している。一般小中学校との交流は少ないように思う。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	11	0	1	0	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	0	保護者による送迎の際や、きつずノート等のツールを使い保護者とは連絡を取り合っている。学校迎え時にその日の様子や、最近の様子等を学校教員とも話ができている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	5	0		
保護者への説明責任	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	0	契約時に運営規程や利用についての詳しい説明を行っている。会報は保護者との共有のアプリにて行っているが、不定期になっている。日々の様子はきつずノートで詳細に記入するようしており、計画書更新に伴う事業所内相談を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	0	0	0	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	8	0	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	0	お迎えの際は必ず担当者より保護者に対し申し送り等を行っている。また、電話や面談など必要に応じた説明をおこなっている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	1	0	保護者の悩み等に電話や事業所内相談で対応している。詳細説明が必要なときはモニター確認を行い、状況など有耶無耶にしないようにしている。
	35 個人情報に十分注意しているか	12	0	0	0	

等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	6	0	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	0	0	0	避難訓練など定期的に取り組んでいる。また、有事に備えスタッフの下へ『集まる』『非常階段の使用』が出来るよう活動の中に取り入れている。 防災バッグをすぐ持ち出せる場所に配置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	0	0	計画書更新時の事業所内相談では保護者へ説明を行っており、定期的な火災や暴風雨を想定した避難訓練を実施し、児童にも避難時の対応を周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	0	虐待防止委員会等が設置されており、苦情等に対する説明もしっかりとした流れで対応出来るよう体制が整えられている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	0	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	0	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	1	0	

スタッフ数	12
回収率	100%